

## 第5回 シティ・ライツ (City Lights) 映画祭

### “思い出そう 大切なこと”

#### < 第5回・シティライツ映画祭の趣旨とその報告 >

映画がみたいのに鑑賞がままならなかった視覚障がい者。映画の感動をすべての人とわかちあいたい映画ファン。その二つの願いを一つにして、「シティ・ライツ」はバリアフリー映画鑑賞の環境づくりを共に続けて参りました。

今年のテーマは「思い出そう、大切なこと」。障がいを越えた心の交流を実現すべく、つながって生きている私たちにとって「大切なことは何か？」を共に感じあう映画祭を開催しました。「見えるものを言葉にする“音声ガイド”」そして「視覚障がい者と共につくりあげる」ことで実現した、映画の感動を共有できる素晴らしいバリアフリー上映の空間を、多くの方々に体験していただき、これからのユニバーサルデザインな社会づくりをイメージしていただく、有意義なイベントにしたいと思いました。

また、今回、震災によって被災された方々への支援のため、当日は、福島の視覚障がい者グループ「縁(ゆかり)」の皆様をご招待し、会場に募金箱を設置して、福島でのバリアフリー上映会の継続開催支援のための募金を行いました。また、非営利活動法人 石巻復興支援ネットワークに協力して、被災地の主婦の方々が手作りしているアクセサリーや小物の販売を行い、売上金を復興支援にあてていただきました。

この映画祭を通じ、人々がそれぞれの障害を乗り越えながら、支え合い、共に生きる喜びを、実感していただけたと思います。

#### バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ (City Lights正式名称) の概要

「目の不自由な方々と共に映画鑑賞を楽しむことのできる環境づくり」を目的に、2001年4月より、東京を拠点に活動してきたボランティア団体です。」

[ 団 体 会 員 数 ] 正会員 173名 賛助会員 30名

[ 主 な 活 動 内 容 ]

- ・ 映画の視覚情報を言葉で説明する「音声ガイド」の研究・制作、上映会での発表
- ・ 劇場公開映画を視覚障害者と共に観に行く「シアター同行鑑賞会」の開催
- ・ 映画情報のサポート
- ・ その他PR活動

CityLights

2012

## ● 映画祭の実施概要

イベント名：第5回シティ・ライツ映画祭  
—思い出そう、大切なこと—

主催：バリアフリー映画鑑賞推進団体 シティ・ライツ

後援：東京都  
社会福祉法人日本点字図書館  
社会福祉法人日本ライトハウス情報文化センター  
社会福祉法人東京ヘレン・ケラー協会

イベント協賛：日本映像翻訳アカデミー 財団法人 川喜多記念映画文化財団  
花王ハートポケット倶楽部 花王株式会社 フコク生命 大和証券グループ本社  
ライオン株式会社 株式会社マイクロサービスセンター 有限会社 読書工房

広告協賛：株式会社ラビット 国稀酒造株式会社 株式会社マイクロサービスセンター オフィス・コア  
RFデザイン株式会社 樋口隆幸税理士事務所 NTTクラリティ株式会社  
ナガタデンキ 有限会社アットイーズ 映画センター全国連絡会議  
シネマ・ジャック&ベティ ドコモサポート株式会社

協力：シネマ雄

会場：江戸東京博物館 大ホール(墨田区) ※ 大ホール 定員数 446名

日程：2012年6月24日(日曜日)

入場料：前売り 1作品 800円/2枚セット券(2作品) 1500円  
当日券 1作品 1000円

## プログラム

10:00開場 11:00開演  
11:05～13:15 『素晴らしき哉、人生』  
＝休憩＝  
14:15～16:25 『奇跡』(日本語字幕付き上映)  
＋トークショー(ゲスト:是枝裕和監督)(終了17:25)

## ◇ 映画祭入場者概要

入場者総数 延べ 742名(内、視覚障がい者 221名)

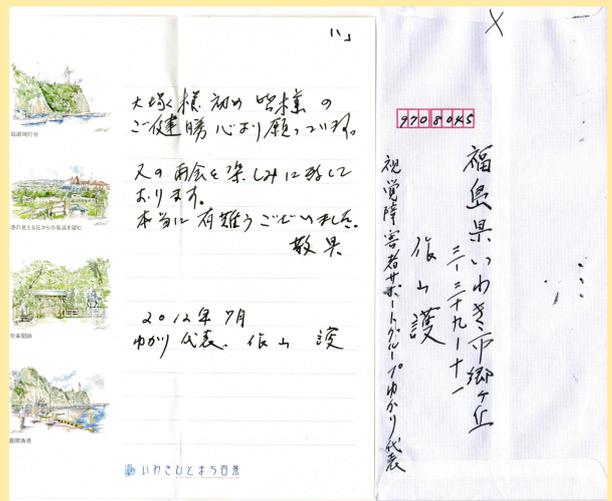
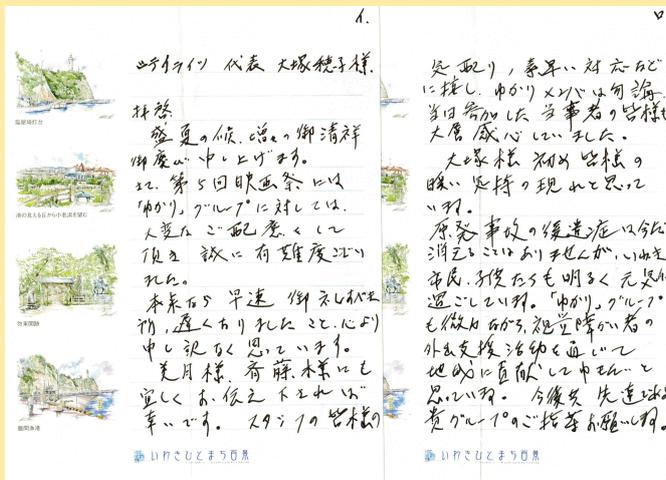
※以下内訳

「素晴らしき哉、人生」 鑑賞者 353名(内、視覚障がい者105名)  
「奇跡 +トークショー」 鑑賞者 389名(内、視覚障がい者116名)

◆震災復興支援

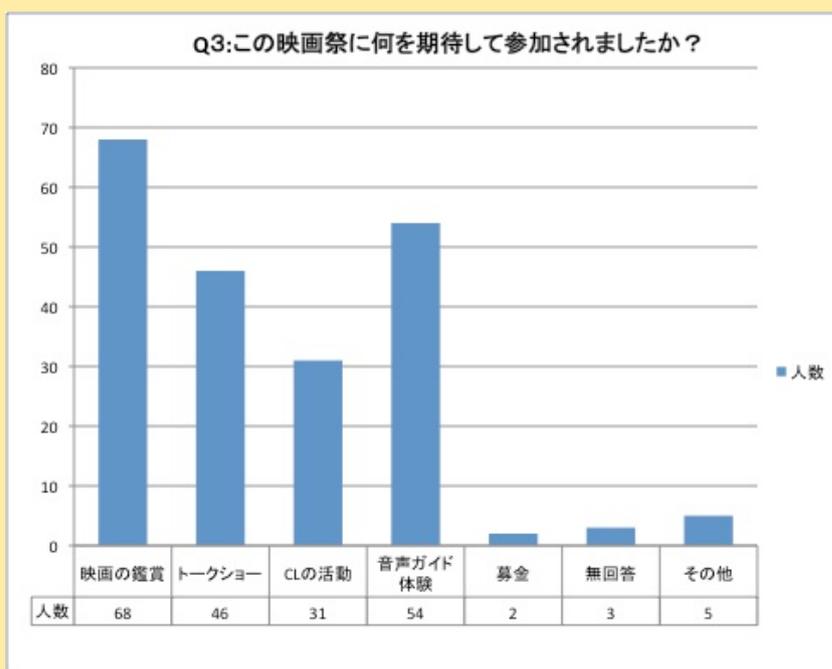
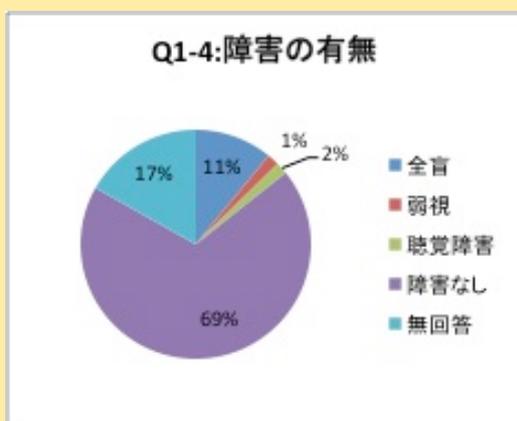
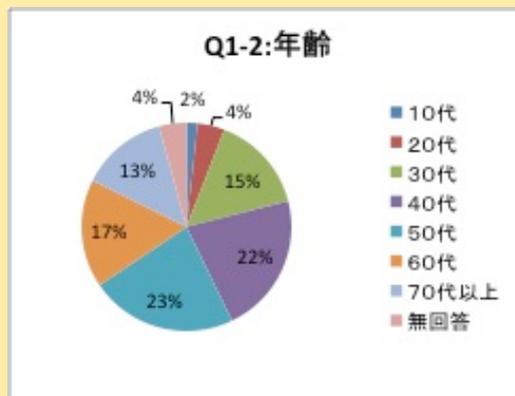


◆会場内で行った支援募金風景

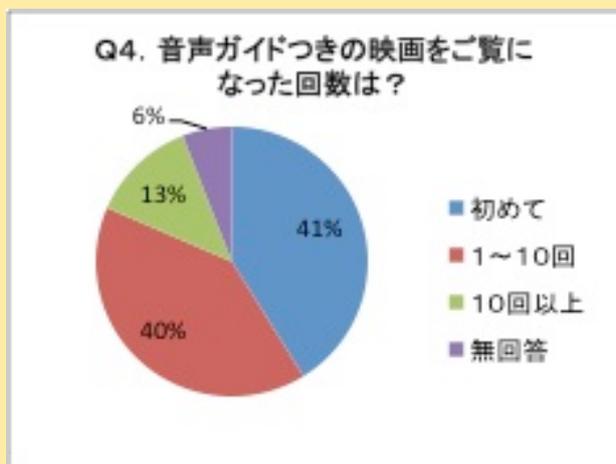


◆今回支援募金を送った福島の視覚障害者グループからのお手紙

◇ アンケート集計結果 1



◇ アンケート集計結果 2



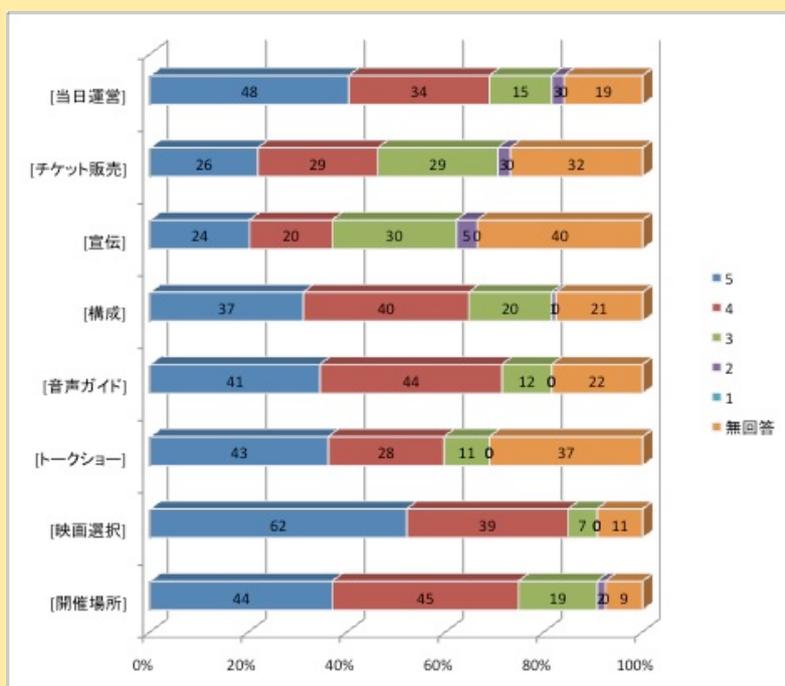
Q:音声ガイドはいかがでしたか？

・役者さんの表情なども副音声として説明があることで、作品の想いなどがとても良く伝わってきました。

・はじめは慣れなくて音が多いなと思ってしまいましたが、奇跡を見る頃には、目の見えない方にとって気になるであろう、町中のちょっとした音、ざわめきにもガイドが入っていることに気づきました。ガイドの配慮の細やかさに感動しました。

・目で鑑賞するのと言葉で伝える映画で、伝えたいことポイントが新鮮でした。

・わかりやすい音声ガイドでした。表情なども表現されていて、自分の感情とは違っても、それもまた楽しかったです。ガイドをしている人と一緒に映画を見ているような気持ちになれる音声ガイドが理想だと思った。



Q:映画祭全体の感想

・2作品とも素晴らしい映画でよかったです。視覚障害者の方がいろんな場所で活躍されているのがよかった。

・非常にあたたかい映画祭に感じました。

・会場で皆さんと一緒に楽しんでいる空気が伝わってくるのが楽しい映画祭でした。

・バリアフリー上映会とてもよかったです。本日始めて参加でしたが、又次回もその後も参加させていただきます。

・初めて参加しました。音声ガイドを作る方々の視点。苦勞と共に楽しんでいる雰囲気トークショーの中で感じられ、今後はこういったガイドにも興味をもて見たいと思いました。会場の笑い声がたえず、あたたかい雰囲気がステキでした。

・子供たちが生き生きして、来てよかった。元気になった。

◇ 写真 1



イベント会場 ホール



視覚障害者誘導支援



視覚障害者誘導支援



視覚障害者誘導支援



音声ガイド貸出ラジオ



ラジオ配布



パソコン要約筆記

◇ 写真 2

